

科目名	情報処理		科目ナンバリング	N-BF 0-19. S N	単位数	2単位	対象学年	4年	開講学期	後期
			科目コード	N15004	時間	30時間				
区分	教養科目	選択	担当者名	三上聖治			授業形態	演習	単独	
	アクティブラーニング	有								
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕</p> <p>文書作成、表計算、データベース、統計関数について、操作法、加工法を学びます。 データの収集、入力、加工、保存から、統計手法を用いて、効率的、客観的な表現方法を習得します。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの4、10に関連している。 カリキュラムポリシーの5に関連している。</p>									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの構成と入出力装置について理解できる。 ・ファイルやフォルダの操作ができる。 ・アプリケーションソフトウェアについて操作、理解ができる。 ・ネットワークの構成や仕組みについて理解し、ネットワークエチケットを遵守できる。 ・データ処理ができる。 ・プレゼンテーションができる。 									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容						備考	
第1回	情報処理とは		情報の概念と必要なデータの分別、加工について学びます。							
第2回	スタンダードパソコンコンピュータの構成と使い方		コンピュータの入出力装置について学びます。							
第3回	アクセサリの使い方 I エディタ		文字入力と保存、加工方法を学びます。 (各自これまで親しんできた入力方法以外の手法とバイト構成を実践してみます。)						アクティブラーニングとしては、自らネットワークを使って、資料収集し、学んだソフトウェアを使って課題を作成し、発表、ディスカッションを実践する。	
第4回	アクセサリの使い方 II 電卓、文字コード		ビットとバイト、1バイト系と2バイト系について学びます。 (通常の電卓と異なるプログラミング電卓との違いを確かめます。)							
第5回	ネットワークの構成と使い方 I グローバルアドレスとDNS		グローバルアドレスとローカルアドレス、ドメインについて学びます。 (適当なアドレスを入力した際のネットワークからの返答を確認してみます。)							
第6回	ネットワークの構成と使い方 II WEBと電子メール		ネットワークの特徴と利点、欠点、エチケットを解説した後、WEBの検索方法、電子メールの送受信について学びます。 (通信先にたどり着くまでの経路について確認します。)							
第7回	ワードプロセッサ		エディタとワードプロセッサの違いについて解説した後、文書、画像の操作について学びます。 (文字の大きさ、装飾、フォント、色について実践します。)							
第8回	表計算ソフトウェア I		セル、シート、ブックの扱い方を学びます。 (お互い作成したデータを発表し、苦労した点を話し合います。)							
第9回	表計算ソフトウェア II		関数を使ったデータ加工について学びます。 (お互い作成したデータを発表し、苦労した点を話し合います。)							
第10回	表計算ソフトウェア III		並べ替えや抽出、統計処理を学びます。 (お互い作成したデータを発表し、苦労した点を話し合います。)							
第11回	表計算ソフトウェア IV		可視化について学びます。 (お互い作成したデータを発表し、苦労した点を話し合います。)							
第12回	データベース		データベースの構築、データの抽出、加工方法を学びます。 (スポーツ選手のデータベースを作成し、発表し合います。)							
第13回	プレゼンテーションソフトウェア		文字、図形、部品の、配置、画面の切り替えを使ったプレゼンテーションを作成します。 (卒業研究の内容をツールで作成して、発表し合います。)							
第14回	プログラミング I		エディタを使って、HTMLでWEBページを作成します。 (作成したホームページを発表し合います。)							
第15回	プログラミング II		エディタを使って、HTMLやJavaScriptで、リンクを張ったWEBページを作成します。 (自動的にリンクするホームページを作成し発表し合います。)							
評価方法及び評価基準	<p>授業の対応、レポートの加算方式 授業の対応 (10%)、レポート (90%)、個々のレポートについてTEAMSを用いて添削する。</p>									
課題等	レポートの評価は試験前に掲示し、試験実施前の再提出も認める。									
事前事後学修	事前学習として合計22.5時間以上を目安とする。									
教材教科書参考書	教科書は使いません。									
留意点	レポートはファイルでネットワークを使っての提出となりますので、ファイル操作、ネットワーク操作の習得が必須です。 課題を課してプレゼンテーションを実施します。									